

「帝京第五高等学校における情報教育の取組」
－情報教育を通して社会に出て活躍できる人材の育成を目指して－

帝京第五高等学校
教諭 高谷 学

1 主題（副題）設定の理由

本校には、さまざまな生徒が在籍している。部活動に励み全国大会出場を目指す生徒、県立高校受験失敗で自信を失っている生徒、中学時代不登校を経験している生徒、生徒指導が困難な生徒等々、挙げればきりが無い。そのため生徒の学力の差が大きく、学力の低い生徒、中学時代は真面目な学校生活を送っていなかったが高校入学を機にやり直したい、といった学習意欲はあるものの学習方法がわからない生徒等々、多様な生徒に対してどのように指導すべきかを日々模索しているが、解決策を見出せないでいる。また、現在はスマートフォン、パソコンの普及により情報化が進み、企業の多くは、コンピュータを取り入れていることから、社会へ進出する際には情報処理のスキルを身に付けておく必要があるため、今回本校の現状を報告し、多くの先生方からご教示いただきたいと思い主題および副題を設定した。

2 本校の情報教育の取り組み

本校では、普通科、総合学科においては1年次に「社会と情報」を学び、看護科では2年次に「看護情報」として学ぶ。総合学科では2年次からはそれぞれの学科に分かれて専門的な知識について学習する。そのため総合学科の「ビジネスコース」以外は、パソコンに触れる機会がなくなるため、1年生のうちに最低限必要な情報処理の技術を習得できるよう、計画を立てて取り組んでいる。

現在、情報通信技術の発達により、環境が整えられていれば、インターネットを場所を問わず行うことが可能となった。このインターネットでは不特定多数の人々とのコミュニケーションができ、昨今では犯罪にも多く巻き込まれている。そのことを踏まえて、1学期には情報通信機器を使用するにあたってのモラルやネチケットについて座学を中心に行う。2学期からは社会に出て必要な文書処理ソフトウェア、表計算ソフトウェアの操作、プレゼンテーションを習得できるよう、実習を中心に行う。（資料1）



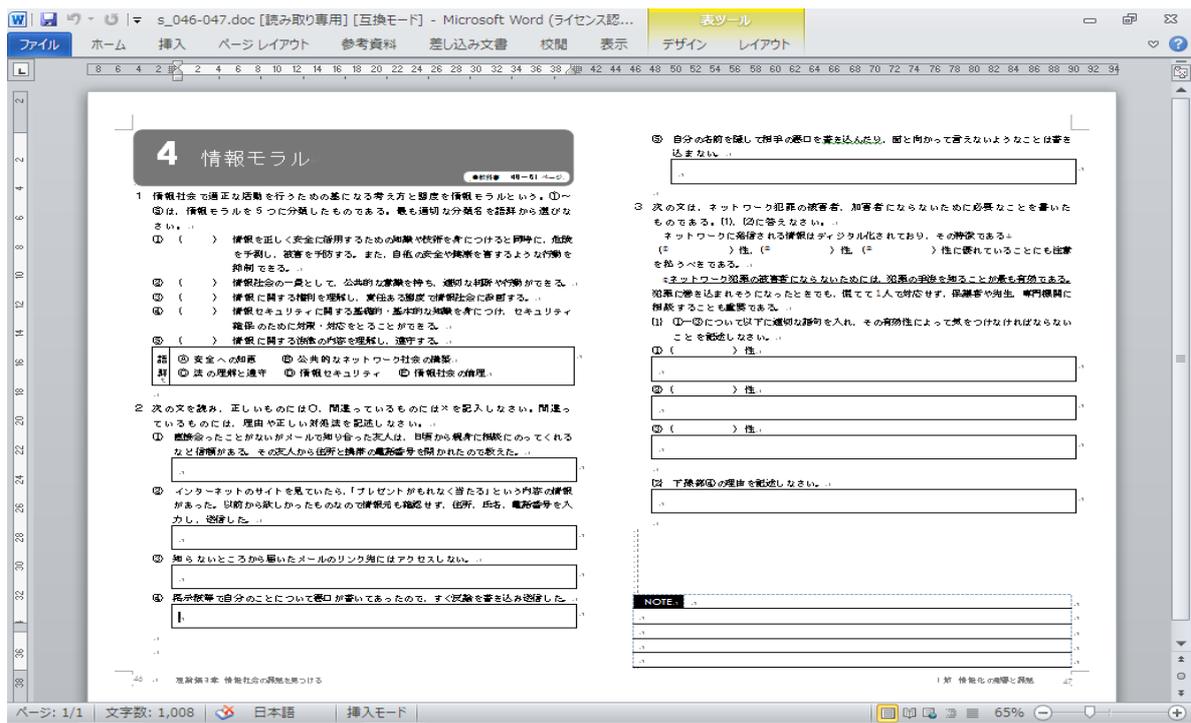
資料1 指導計画

月	学習項目	主な学習内容・活動
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティ ● 情報とメディア ● 信頼できる情報と信頼できない情報 ● 情報の見極め ● 情報社会の影 ● 情報モラル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザ ID とパスワードについて学ぶ。 ・ 情報セキュリティポリシーを具体的な例を通して学ぶ。 ・ 情報の特徴とメディアの意味について学ぶ。 ・ 情報の信憑性と評価について学ぶ。 ・ 情報を批判的に読み解くことについて学ぶ。 ・ メディアリテラシーについて学ぶ。 ・ 情報化の進展によるサイバー犯罪、犯罪に結び付く危険性、依存性について調べ、発表する。 ・ 具体的な事例などを通して、問題点、解決策などを考える。 ・ 実習を通して匿名性について考える。 ・ 情報モラルについて学ぶ。 ・ 文書処理ソフトウェアの操作について学ぶ。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ● 文書処理ソフトウェアの操作 ● 表計算ソフトウェアの操作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。 ・ 図形や画像情報の活用が、情報の簡潔化や明瞭化、印象に効果があることを理解する。 ・ ワープロの利用に関する知識と技術を習得する。文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解し、基本的社内文書や社外文書の作成に関する知識と技術を習得する。 ・ 全国商業高等学校協会のビジネス文書検定3級程度の練習問題に取り組む。 ・ 表計算ソフトウェアの操作について学ぶ。 ・ 表やグラフ等を含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を習得する。 ・ 各自の学習進度に応じて、全国商業高等学校協会の情報処理検定2～3級の練習問題に取り組む。 ・ 希望者は3学期の情報処理検定を受験させる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンテーションソフトウェアの操作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の形態について学ぶ。 ・ プレゼンテーションの重要性について学ぶ。 ・ プレゼンテーションの形態、評価について学ぶ。 ・ プレゼンテーション活動の目的や方法について理解する。 ・ プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して発表用の資料や作成の準備から発表までのプレゼンテーション技法を習得する。

3 結果と考察

携帯電話を持つ生徒が多いなか、さまざまな情報を得ることができ、友人とのコミュニケーションも増えるが、ブログや掲示板などの利用による身近なトラブルが後を絶たず、携帯電話への依存度が高くなるなどの問題も起きている。したがって、「セキュリティ」、「情報モラル」、「情報社会の影」などを1学期に学習することで、意識を高め、自ら考え行動できるようにすることで、トラブルを起こさない、巻き込まれないように、十分な指導を行った。しかしながらトラブルは少なくなったものの、依然としてなくなることはない。(資料2)

資料2



社会情勢の変化により、社会に出たときに、多くの生徒が利用すると予想されることから文書処理ソフトウェア（資料3）、表計算ソフトウェア（資料4）の操作についても十分な時間を取った。もちろん、スキルの向上を中心に考えるのではなく、情報を活用し、表現するための道具であることに気づかせるよう配慮したが、まだまだ生徒間の意識や個々の能力の差があり習得状況はまちまちであった。



4 まとめ

家庭での会話のなかで、ほとんどの企業が情報化している現状がわかり、本校の生徒にも最低限の情報処理のスキルを身につけさせようという思いから始めた。

生徒自身の学習に対する意欲や基礎学力の定着が必須条件である。本校生徒のように、義務教育段階での学習に躓きのある生徒にとっては、情報教育を上手く活用することで、パソコンに興味を持たせることにより、やればできるという自信を持たせ、学習習慣を定着させ、延いては他教科への学習意欲をもたせる契機となると考える。

課題は山積しているが、情報教育を通じて確実な学習定着を図り、今後は、生徒主体の体験型授業も積極的に取り入れることにより、社会で活躍できる生徒の育成に努めていきたい。

平成 30 年 9 月 15 日

参加団体代表者各位

文化祭実行委員長

部門別調整会議のお知らせ

前回の会議で希望する使用場所についてのアンケートを実施しましたが、複数の団体で希望が重複していることがわかりました。

つきましては、部門別調整会議を実施し、使用場所の決定を行いたいと思います。

なお、会議に欠席の場合には、文化祭実行委員会に一任ということにさせていただきますので、ご了承ください。

記

部門	会議日時	場所
展示部門	7月4日(水)4時	化学室
舞台部門	7月5日(木)4時	視聴覚準備室
食品部門		家庭科室

以上

おにぎり

小窓亭

伝説のおにぎり屋「小窓亭」が今年もオープン。

あなたに幸せをおくります。外デッキにて販売中！



「小窓亭」は開校以来、2年生有志が出店している伝説のおにぎり屋です。「米1粒を大切にするように、お互いを大切にしよう」をモットーに熱い思いをこめて握っています。おにぎりは「おむすび」とも言われますが、小窓亭のおにぎりは「縁結び」のご利益があるともしわれ、このおにぎりを食べて「大学に合格した」「両思いになった」と毎年多くの嬉しい報告をいただいています。

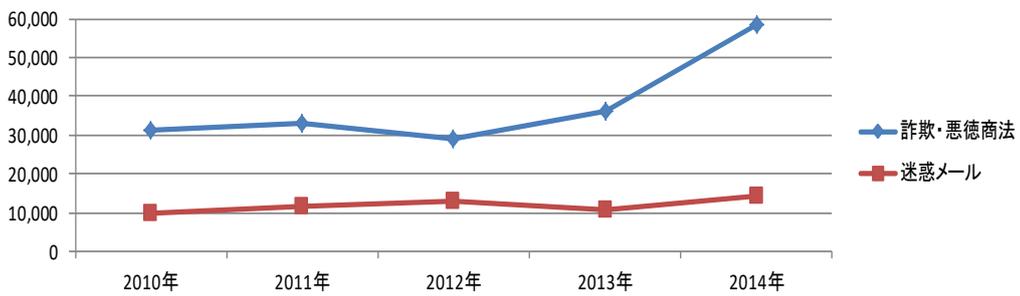
福をよぶ伝説のおにぎりをぜひ食べてみませんか！

サイバー犯罪相談件数の推移

1. 相談件数

相談内容	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	割合	順位	備考
詐欺・悪徳商法	31,333	32,892	29,113	36,237	58,340	49.4%	1	○
迷惑メール	9,836	11,667	12,946	10,682	14,185	12.1%	4	○
名誉毀損・誹謗中傷	10,212	10,549	10,807	9,425	9,757	8.3%	2	
オークション	6,905	5,905	4,848	5,950	6,545	5.6%	5	
不正アクセス	3,668	4,619	4,803	6,220	9,550	8.1%	7	○
違法・有害情報	3,847	3,382	3,199	3,132	5,080	4.4%	6	○
その他	10,009	11,259	12,099	13,217	14,643	12.4%	3	○

詐欺・悪徳商法と迷惑メール被害相談件数の推移



2. インターネット利用の種類別行動者数

単位：千人

種類	北海道	東京都	広島県	沖縄県	合計
電子メール	2,245	7,167	1,166	436	11,014
チャット	575	2,050	229	97	2,951
ブログの更新	310	1,242	135	59	1,746
情報検索	1,850	6,465	993	357	9,665
動画や音楽の入手	1,245	3,818	585	239	5,887
ショッピング	995	3,918	483	169	5,565
その他	838	2,514	345	136	3,833

種類別行動者数の割合

